



OOKA area

大岡地区

文化財



上岡観音

国選定無形民俗文化財

上岡観音の絵馬市

上岡観音は、古くから馬頭観音として信仰を集め、毎年2月19日伝統の絵馬市が開かれます。馬の無病息災を願って馬の行進と、馬や牛の絵馬が売られ、出店も出て県内外から大勢の参拝客が訪れます。



市指定文化財

大雷神社の絵馬

Ooka Area

In Ooka area, north of the city, a number of historical locales designated by national and prefectural government remain: the sites of the Heian Period (794-1185), Oya tile kiln, a Buddhist tower in Kofukuji Temple of 14th century and a cluster of ancient tombs in Sanzenzuka.



顔なじみのお客さんも多く、今年もよろしくと、2月19日は、まるで正月のよう。身体が持つ限り、絵馬売りを続けたいです。

東松山市の北部に位置する大岡地区内には、元亨3年銘の宝篋印塔をはじめ、三千塚古墳群、平安期のもので推定される瓦窯跡など史跡が多く、また比企判官能員の城跡と伝えられる城ヶ谷、若狭局が草庵を結んだという比丘尼山、扇谷山宗悟寺に伝わる頼家の位牌など、鎌倉時代の遺跡や伝説が数多く残っています。

雷電山古墳上の大雷神社や、牛馬の神様上岡馬頭観音は、共に広く人々の信仰を集めてきました。

東松山市の北部に位置し、光福寺の宝篋印塔をはじめとする重要文化財が数多く点在する地域です。



市指定文化財

三千塚古墳群

(写真は出土品)



国指定重要文化財

大谷瓦窯跡

7世紀後半の登り窯跡。平瓦、竹瓦、蓮華文様のある瓦当などが出土した瓦専用焼き窯です。

光福寺宝篋印塔

宝篋印塔は、仏教の建造物の一種。元亨3年(1323年)に建てられた。鎌倉時代後期を代表する均整の取れた石造供養塔です。



県指定文化財

宝篋印塔出土品

宝篋印塔塔基から、白磁壺、数珠、五輪塔、仏舎利、火葬骨等が出土しました。

県指定文化財

光福寺の板石塔婆

嘉元4年(1306年)銘、高さ168cm。来迎阿弥陀三尊像が線刻されています。

民俗文化財を支える



上岡観音絵馬保存会

小川 とく子さん(写真左) 篠崎 キヨ子さん(写真右)

唐子地区の指定文化財

P26

指定	種類	名称
県考	板石塔婆	
県史	青鳥城跡	
県史	若宮八幡古墳	
市建	浄空院本堂・庫裡・禅堂・裏門	
市彫	妙昌寺日蓮上人相師像	
市考	妙昌寺の瓦塔	
市考	妙昌寺の板石塔婆	
市考	虎御石(板碑)	
市考	青鳥城跡板石塔婆	
市考	水神塔	
市考	菅沼氏一族の墓	
市考	青塚古墳出土品	
市無民	下唐子の獅子舞	
市無民	神戸の獅子舞	

高坂/高坂丘陵地区の指定文化財

P27

指定	種類	名称
県歴	正法寺銅鐘	
県歴	弘安四年銘板石塔婆	
県史	正法寺六面幢	
県名	物見山岩殿山観音の勝	
県旧	加賀爪氏累代の墓	
市建	正法寺の鐘楼	
市彫	毛塚薬師如来坐像(石像)	
市彫	世明寿寺千手観音立像	
市彫	世明寿寺二十八部衆像	
市彫	八幡神社前庚申塔	
市彫	愛染明王	
市彫	毛塚の石仏	
市工	短刀(英義)	
市古	正法寺の算額	
市古	世明寿寺の算額	
市古	代官文書	
市古	明版大蔵経	
市古	正法寺の中世文書	
市考	正法寺阿弥陀一尊板石塔婆	
市考	正法寺阿弥陀三尊板石塔婆	
市考	双雀草文鏡	
市考	阿弥陀堂の板石塔婆	
市考	仁治二年の板石塔婆	
市考	阿弥陀一尊板石塔婆	
市考	阿弥陀三尊板石塔婆	
市考	香林寺心字座板石塔婆	
市考	香林寺阿弥陀一尊板石塔婆	
市考	香林寺阿弥陀一尊板石塔婆(仁治二年銘)	
市歴	石橋及び石橋供養塔	
市有民	獅子舞道具一式(宮鼻)	
市無民	宮鼻の獅子舞	
市無民	正代祭ばやし	
市無民	後本宿のフセギ行事	
市無民	望月のフセギ行事	
市史	諏訪山古墳	
市史	足利基氏の墓跡	
市史	桜山窯跡群	
市天	正法寺の大銀杏	
市天	カタクリの群生地	
市天	八幡神社の大樺	
市天	あららぎ	
市天	観音下の清水	

松山/平野地区の指定文化財

P24

指定	種類	名称
県建	箭弓稲荷神社社殿付棟札二枚	
県史	上田朝直建立青石塔婆	
市建	八雲神社の社殿	
市絵	箭弓稲荷神社の絵馬	
市絵	十界図(江野樺雪作)	
市絵	釈迦涅槃図(江野樺雪作)	
市彫	吉田家所蔵阿弥陀如来像	
市工	刀(克一)	
市工	刀(日比野道義)	
市工	山王焼	
市工	幼鳥を抱く童(市川東玉斎作)	
市工	波濤玉台(市川東玉斎作)	
市古	永福寺の制札	
市古	松山陣屋関係古文書	
市考	十三仏板石塔婆	
市歴	松山古地図	
市歴	上田朝直寄進の十界曼荼羅	
市歴	博覧堂扁額	
市無民	箭弓町祭ばやし	
市無民	松葉町祭ばやし	
市無民	木やりと梯子のり	
市史	松山陣屋跡	
市天	なんじゃもんじゃの木	

野本地区の指定文化財

P25

指定	種類	名称
国重・彫	木造阿弥陀如来坐像	
県考	古凍古墳群内土壇出土鉄製鍔及び馬具	
県無民	金谷の餅つき踊り	
県史	將軍塚古墳	
県天	万松寺のシイ	
県彫	銅造誕生釈迦仏立像	
市絵	泉蔵寺の絵馬(馬の図)	
市絵	浄光寺の融通念仏縁起絵巻	
市絵	野本八幡神社の絵馬	
市彫	泉蔵寺十一面観音立像	
市彫	俱利伽羅不動尊	
市考	浄光寺の板石塔婆	
市考	清見寺心字座板石塔婆	
市考	水鳥を冠した人物埴輪	
市考	五領遺跡出土品	
市考	鈴付腕輪(諏訪山古墳群一号墳出土)	
市考	古鏡と釧	
市無民	上野本の獅子舞	
市無民	古凍祭ばやし	
市無民	柏崎の万作	
市史	五領遺跡	
市史	春桂家塾跡	
市史	野本氏館跡	
市史	おくま山古墳	

大岡地区の指定文化財

P23

指定	種類	名称
国重・建	光福寺宝篋印塔	
国選民	東松山上岡観音の絵馬市の習俗	
国史	大谷瓦窯跡	
県考	板石塔婆	
県考	光福寺宝篋印塔出土品	
市工	刀(勝村正勝)	
市歴	森川氏累代の墓	
市無民	野本の獅子舞	
市有民	獅子舞道具一式(野田)	
市史	三千塚古墳群	
市史	比丘尼山と横穴墓群	
市史	鴻の面一号墳	
市史・絵	相撲場と大雷神社の絵馬	
市天	玉太岡神社の大樺	

先人たちが築いてきた東松山市の伝統や文化はさまざまな人に支えられ、今なお、色鮮やかにその姿を残す。

歴史探求

文化財

History of Higashimatsuyama



NOMOTO area

野本地区

文化財

県指定文化財

古凍古墳群内土壙 出土鉄製壺鍔及び馬具

古墳時代後期の馬具で、鉄製壺鍔は県内初の出土例。完全な形を留めた優品で、当時の金工技術を知る上で価値の高いものです。



県指定文化財

将軍塚古墳

5世紀後半から6世紀前半の築造と推定される大型前方後円墳。県内第2位の規模を誇ります。

市指定文化財

浄光寺の 融通念仏 縁起絵巻



市指定文化財

泉蔵寺の絵馬



市指定文化財

五領遺跡出土品



市指定文化財

おくま山古墳



県指定文化財

銅造誕生釈迦仏 立像(無量寿寺)

県内最古の誕生仏で、例外的に左手をあげています。誕生釈迦仏とは、釈迦誕生の姿をかたどったものです。



Nomoto Area

Traversed by both the Kawagoe and the Hachioji roads, this area retains a certain old-time feeling. Plenty of ancient tombs have been unearthed. In Kashiwazaki, Goryo remains are famous historically for its Goryo type clay pots from Kofun period (3th - 6th century).

国指定重要文化財 木造阿弥陀如来坐像

等覚院の寺宝で、像高87.4cmのヒノキ材寄木造り。目は彫眼、全身に漆箔が施された座像。県内でも屈指の優品で、市を代表する古仏の一つ。胎内に書かれた銘から、鎌倉時代中期に、仏師定性によって修理されたことがわかっています。



川越道と八王子道が通るこの地区は、おくま山古墳をはじめ多くの遺跡が確認されています。



MATSUYAMA / HIRANO area

松山/平野地区

文化財

その昔、松がたくさん生えた小さな山地だったことから「松山」の地名が付きましました。戦国時代、松山城主の保護で市場が開かれてから、この地方の中心地として発展してきました。
往時には、箭弓稲荷道を大勢の参拝客が行き交い、江戸時代には、日光脇街道の宿場として栄え、北国の大名たちの宿泊地にもなり、本陣・脇本陣がありました。また、前橋藩松山陣屋が置かれ、その他、菅原神社、将軍地蔵などの史跡もあります。



県指定文化財

箭弓稲荷神社 社殿付棟札二枚

箭弓稲荷神社

市指定文化財

八雲神社の社殿

4面すべてを樺の彫刻で飾られた社殿。正面には花・鳥・竜・唐獅子が、左右・背面には、神話の世界が彫られています。



市指定文化財

永福寺の制札



市指定文化財

松山陣屋跡



市指定文化財

なんじゃもんじゃの木

箭弓稲荷神社の参拝客に親しまれてきた高さ10数mのイヌザクラの大木。南方系の珍しい種類なので、「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれました。



県指定文化財

上田朝直 建立の 青石塔婆

戦国時代の名將で松山城主、上田朝直が元龜2年(1571年)に一族や家臣の冥福を祈って建立した高さ273cmの供養塔です。



市指定文化財

十三仏板石塔婆

Matsuyama / Hirano Area

Matsuyama area, the central part of the city, is known to have prospered as a side-road of Nikko road during the Edo period. It served as an accommodation, inn and entertainment stop-over that catered to feudal lords and merchants. Yakyu Inari Shrine, originally built in 712, attracts a number of visitors.

民俗文化財を支える



金谷の餅つき踊り保存会
新井 甚次さん

300年の歴史をもつ餅つき踊り。私も18歳頃から始めて、92歳の今も現役です。踊り仲間は60歳代が多いですね。当初は長襦袢にタスキ掛けでやっていたのですが、後に半天、ももひきを作りました。大阪万博にも出ましたよ。
餅つき唄を歌いながら、杵と声を合わせて踊りますが、踊り手同士の調子を合わせるのが難しいです。本番の時に練習の成果が出て、大勢の見物客の見守る中、ピタッと決まったときは、嬉しいですね。
餅つき踊りは他の地域にもあるようですが、現在つきあがった餅でダンゴを作って、見物客に振る舞ったりしているのは、うちぐらいいでしょう。



県指定無形民俗文化財 金谷の餅つき踊り

例年11月23日、上野本の氷川神社で、五穀豊穡を祈念して行われる行事。餅つき踊りの演目は全部で16種類で、3人つきと5人つきがあり、東松山市を代表する文化財です。

民俗文化財を支える



松葉町祭はやし保存会
松田 静雄さん(会長・写真右)
持田 文成さん(写真左)

松葉町祭はやしは、葛西はやしを祖とする江戸のはやしの流れを汲みます。夏祭り2日目夜には5台の山車が勢揃いして行う、「ひっかわせ」という叩き合いが最高ですね。その他、盆踊りや幼稚園や保育園・日本スリーデーマーチのパレードなども演奏します。保存会の会員は、現在75人。子どもから熟年層までバランスがとれており、うち小・中学生が40人程で、近年は女子が多いです。今のところ後継者不足の心配はありません。
ここ数年は源流である葛西はやしの稽古を受けるなど、私も会長として、さらなる発展を目指しています。



市指定無形民俗文化財 松葉町祭はやし

7月第4土・日曜日、夏祭り(天王様の祭り)などで奉納されるはやし。松葉町では、保存会員が山車の上ではやしを奏でながら町内や市街地を巡行します。



TAKASAKA /
TAKASAKA KYURYO area

高坂/高坂丘陵地区

文化財

比企丘陵のすそ野に広がるこの地区は、湧き水と坂が多く、巡礼道など多くの古道が交差します。

南比企丘陵のすそ野に広がる高坂台地には、東西を巡礼道・観音道、南北を児玉道・八王子道といった古道が複雑に交差しています。七清水八坂と呼ばれ、昔から湧き水と坂の多いことでも知られている地区です。

岩殿山正法寺の諸々の史跡をはじめ、世明寿寺の風神・雷神、八坂神社前庚申塔、薬師如来像、愛染明王があります。また、物見山岩殿山観音の勝、市指定の天然記念物でもあるカタクリの群生地などもあります。



県指定文化財 加賀爪氏累代の墓

徳川幕府に仕えた旗本加賀爪政尚・忠澄・直澄3代の墓で、墓塔は高さ2m余りの宝篋印石塔。菩提寺である高濟寺境内にあります。



県指定文化財

弘安四年銘板石塔婆

青蓮寺境内にあり、小代重俊の供養と、蒙古来襲に備え九州に下った鎌倉時代の武士団小代氏の武運を願って建立したものです。弘安4年(1281年)は「弘安の役」の年です。



市指定文化財 桜山窯跡群



市指定文化財 石橋・石橋供養塔



市指定文化財 世明寿寺
千手観音立像



市指定文化財 八幡神社
前庚申塔



県指定文化財 六面幢

正法寺

物見山の中腹にあり「岩殿観音」の呼び名で親しまれる真言宗の名刹で、坂東33カ所霊場の10番札所。本堂・観音堂・仁王門・鐘楼・庫裏などが景観をつくり、銅鐘・六面幢・板石塔婆など価値ある史跡も豊富です。

Takasaka / Takasaka Kyuryo Area

Takasaka Kyuryo, or hill is well known for numerous springwater and old paths that run as if intertwined. Historical sites such as the god of wind and god of thunder in Semyoji Temple, Yakushi, the healing Buddha are worth seeing. A heavy growth of dogtooth violet is a municipal designated natural treasure.



県指定文化財 銅鐘



市指定無形民俗文化財 正代の祭ばやし

7月25日、正代の夏祭りに御霊神社で演じられる祭ばやし。山車の上で祭ばやしを演奏します。白狐やひよつとこ、おかめの踊りなど、面の数の多さが特色です。

正代の祭ばやしは歴史が長く、今の新ばやしができるのは昭和6年です。おはやしは太鼓、神楽、踊りのセットで行い、1つの演目が約40分。万作踊りの系統を汲んでおり、お面の数も52面と多く使うのが特徴で、白狐やひよつとこ踊り、おかめの踊りなどは、子どもたちが、おもしろがりますね。そのせいか、小学生の団員も楽しみながら練習します。

正代の祭ばやしは、毎年の夏祭りはもちろんのこと、日本スリ―ターマーチのときには千年谷公園の野外ステージで演じます。人気の出し物は、「エビス・大黒の魚釣り」。鯛を釣ってめでたしのお話です。



正代の祭ばやし保存会
会長
内野 莊治さん

民俗文化財を支える



KARAKO area

唐子地区

文化財

「天の園」の舞台でもあるこの地区は、青鳥城跡や板碑などが見られ、数多くの言い伝えを残します。

東松山市の西北部、都幾川に沿って田園風景が広がるのが唐子地区です。日蓮上人ゆかりの伝説を秘めた青鳥城跡をはじめ、数多くの板碑、禅寺の歴史を物語る浄空院、妙昌寺の瓦塔・鬼子母神、葛袋の長屋門、白山神社境内の富士女人登山成就記念石碑など、見どころもたくさんあります。

また、この地区の稲荷神社には、坂上田村麻呂が、岩殿の大蛇退治の祈願をしたと伝えられています。



妙昌寺

青鳥城跡

平安時代から戦国期の城跡で、青鳥判官恒義築城の言い伝えを残す。東西750m、南北600m。土塁・空堀・土橋・物見櫓跡や板碑を多数残します。



市指定文化財 浄空院本堂・
庫裏・禅堂・裏門

浄空院は文禄2年(1593年)、旗本菅沼越前守定吉が開いた禅寺です。



市指定文化財 日蓮上人祖師像

市指定文化財 瓦塔

県指定文化財

板石塔婆

妙昌寺は日蓮上人が文永8年(1271年)に佐渡へ流された時、青鳥城に1泊したことを縁起に持つ寺です。この板石塔婆は、高さ159cmで貞和2年(1346年)に日蓮上人65回忌の供養のため建立されたものです。

Karako Area

Featured by the rural scenery along the Toki River, Karako area in the north-west part of the city, is abundant in historical places: Odori castle ruin associated with the legendary Nichiren Buddhist monk, Jokuuin Zen temple, tile kiln tower in Myoshoji Temple, etc.



若宮八幡古墳

6世紀末から7世紀初め頃に造られた市内第3位の大型円墳。直径30m、高さ4m。巨大な凝灰岩の横穴式石室があります。



市指定文化財 虎御石
板石塔婆

市指定文化財 青鳥城跡
板石塔婆

市指定文化財 水神塔



市指定無形民俗文化財 下唐子の獅子舞

唐子神社で7月27日、疫病除けを願う夏祭り、10月19日、五穀豊穡に感謝する秋祭りに奉納されます。400年の歴史を持ち、獅子舞の原点を見る豪放華麗な舞が特色です。

下唐子の獅子舞は勇壮な舞が特徴で、特に1頭の雌獅子をめぐり、2頭の雄獅子が争う「雌獅子隠し」の舞は、ドラマ性があり、見応えがあると思います。

郷土学習のために小学校へ出て向き体育館で獅子舞を披露したりもしています。これからも地域の財産として、獅子舞に関心を持ってもらいたいですね。

下唐子の獅子舞は勇壮な舞が特徴で、特に1頭の雌獅子をめぐり、2頭の雄獅子が争う「雌獅子隠し」の舞は、ドラマ性があり、見応えがあると思います。



下唐子獅子舞保存会
会長
中村 文平さん

民俗文化財を支える